

総合型地域スポーツクラブの設置に関する 調査・支援事業



DATA

●主な連携先・メンバー

堺市文化観光局スポーツ部スポーツ推進課／堺体育協会／堺市スポーツ少年団／堺市ボランティアスポーツ指導者会／大阪府立大学／株式会社プレイザーズスポーツクラブ／錦綾健康づくりクラブ／クラブ登美丘南

●活動地域

堺市

●活動資金

堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

- 1 総合型地域スポーツクラブの設置を図るために、堺市の各種団体が連携して調査研究し、設置の支援を行う
- 2 現有の総合型地域スポーツクラブが自立するための各種支援を行う



連携にいたる経緯

現在、堺市には総合型地域スポーツクラブが二つしかなく、堺市第2次スポーツ推進計画に個別目標として掲げた「総合型クラブ数の増加(平成32年度までに5か所)」を目標とし、各種団体と連携しながら創設に向けて検討し、実現を目指す。

活動内容

市内のスポーツ関係団体が集まり、総合型地域スポーツクラブを設置するために6つのテーマ(スポーツ少年団、小中学校施設開放事業、中学校運動部、スポーツ施設、クラブ・企業との連携、地域スポーツ指導者)を設定して、その現状を調査し、課題を検出した。それをもとに、総合型地域スポーツクラブ設置の可能性と方向性について4回にわたって検討を行った。

また、現有の錦綾健康づくりクラブ、クラブ登美丘南に対して、クラブを発展させていくための啓発講習会とスポーツ教室を開催した。新しい試みとして、堺プレイザーズと連携して指導者を派遣してもらい、バレーボール教室を開催した。さらに、大阪エベッサによるバスケットボール教室など、プロスポーツとの連携による教室の有効性について検証した。

活動の成果

- 1 スポーツ少年団、地域スポーツクラブ等の既存の集団で、総合型地域スポーツクラブに移行できる可能性があることが明らかになった
- 2 総合型地域スポーツクラブの運営を支援する組織を構築する必要があることが分かった
- 3 現有のクラブに対して、プロスポーツクラブからの指導者派遣やプログラム提供の支援の有効性が明らかになった

今後の課題・目標

- 1 モデル地域を決めて、実際に総合型地域スポーツクラブを立ち上げる準備を進める
- 2 指導者育成と派遣についてのシステムを構築する

●教員紹介



人間健康学部 教授

杉本 厚夫(すぎもと あつお)

堺市スポーツ推進審議会会長として、堺市の市民スポーツの推進を行っている。



人間健康学部 教授

西山 哲郎(にしやま てつお)

学校運動部のオルタナティブとして総合型地域スポーツクラブの可能性を検討している。